

科目名	林業・造園概論Ⅱ		科目番号	林・造-1
担当教員	増田拓朗(香川大学名誉教授)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	12～2月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	林業と造園の関係、森林の働き、造園の役割について学習し、これからの林業及び造園のあり方について考える。			
授業概要	林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。			
授 業 計 画	第1時限	授業の方法と内容について説明する。 林業と造園のつながりについて説明する。		
	第2時限	森林の種類と分布について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第3時限	森林の機能・役割について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第4時限	森林の機能・役割を踏まえて、健全な森林づくりについて学ぶ。		
	第5時限	造園分野の広がりや役割について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学び、造園の果たすべき役割について考える。		
	第6時限	日本庭園について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第7時限	西洋庭園について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第8時限	都市公園について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第9時限	自然公園について、林業・造園概論Ⅰの学習内容を踏まえて、さらに深く学ぶ。		
	第10時限	景観の特質と構成について学ぶ。		
	第11時限	都市化と歴史的・文化的景観の保全について学ぶ。		
	第12時限	地域開発と自然環境保全、生活環境保全について学ぶ。		
	第13時限	庭園・公園見学		
	第14時限			
	第15時限	総括		
	第16時限	試験		
テキスト、参考書	プリントを配布する。			
成績評価法	試験、レポートを総合して評価する。			
その他				

科目名	樹木学 I		科目番号	林・造-2
担当教員	守屋均(元香川大学)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	5~7月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	植物の生理生態を理解し植物名を覚える。			
授業概要	植物名を覚えるため、要素試験を繰り返し実施する。植物の基礎知識と栽培環境を理解する。			
授 業 計 画	第1時限	要素試験		
	第2時限	植物のいろいろ(グループ分け)		
	第3時限	要素試験		
	第4時限	植物の仕組みと働き(花、葉)		
	第5時限	要素試験		
	第6時限	植物の仕組みと働き(種子、茎、根)		
	第7時限	要素試験		
	第8時限	植物のライフサイクル		
	第9時限	校内樹木調査		
	第10時限	栽培環境(光、湿度、温度)		
	第11時限	要素試験		
	第12時限	栽培環境(水、風)		
	第13時限	要素試験		
	第14時限	栽培環境(土、肥料)		
	第15時限	テスト、要素試験		
	第16時限	テスト、植物と環境についてのレポート		
テキスト、参考書	葉っぱでわかる造園樹木図鑑 よくわかる庭木大図鑑			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	森林科学概論		科目番号	林・造-3
担当教員	阿部佑平		科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース		開講時期	5～7月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	森林の種類、森林の機能について理解を深める。			
授業概要	森林の種類や森林を構成する樹木、森林を取り巻く環境、森林のもっている様々な働きである多面的機能について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	森林の定義と分類		
	第2時限	樹木の特性		
	第3時限	樹木の特性		
	第4時限	森林の立地環境		
	第5時限	森林生態系の構造		
	第6時限	植生遷移と森林の発達段階		
	第7時限	森林の多面的機能		
	第8時限	森林の機能と目標林型		
テキスト、参考書	森林科学(実教出版)			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	造林学		科目番号	林・造-4	
担当教員	河野幸彦		科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース		開講時期	10～11月	
単位数	1		必須・選択の別	必須	
授業目標	森林の施業技術や管理技術について理解を深める。				
授業概要	持続可能な森林管理を実現するための具体的な森林の施業技術や管理技術について学習する。				
授 業 計 画	第1時限	木材生産の更新技術(人工更新)	適地の判定・伐採方法・苗木の種類		
	第2時限		植栽		
	第3時限	木材生産の更新技術(天然更新)	苗木の育成と林木育種(現地調査)		
	第4時限		天然下種更新、萌芽更新		
	第5時限	初期保育技術	下刈り、つる切り、除伐		
	第6時限	樹冠管理技術	枝打ち、間伐の目的・種類		
	第7時限		定性・定量間伐、広葉樹林の間伐		
	第8時限	更新技術・初期保育技術・樹冠管理技術(現地調査)			
	第9時限	木材生産の施業体系、環境林の管理技術、世界と日本の森林被害			
	第10時限	森林の病虫害・獣害、森林の気象被害			
	第11時限				
	第12時限				
テキスト、参考書	森林科学(実教出版)				
成績評価法	主に試験の成績により評価する				
その他					

科目名	森林防災学		科目番号	林・造-5
担当教員	河野幸彦	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	1～2月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	森林防災の必要性、測量の基礎について理解を深める。			
授業概要	森林を保全・育成し、水源の涵養や土砂の流出防止など森林の機能を発揮させる治山事業の重要性について学習するとともに、森林の測量において基本となるコンパス測量、水準測量について学習する。			
授 業 計 画	第1時限	治山の重要性		
	第2時限	山地の荒廃		
	第3時限	治山工事		
	第4時限	山腹工事		
	第5時限	コンパス測量①（校内実習）		
	第6時限	コンパス測量②（校内実習）		
	第7時限	水準測量①（校内実習）		
	第8時限	水準測量②（校内実習）		
テキスト、参考書	森林経営（実教出版）、各種資料			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	造園特論		科目番号	林・造-6
担当教員	川田一郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	11～1月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	庭園設計や管理に影響のある日本の美意識や日本建築・庭園の特徴などについて幅広く学び、造園という職の魅力について理解を深める。			
授業概要	日本庭園の歴史や歴史上の作庭家、また日本の美意識などについて紹介する。その理解により、プロとして空間を把握する手法を講義する。			
授業計画	第1時限	日本庭園の形態		
	第2時限			
	第3時限	主な作庭家・書籍の紹介		
	第4時限			
	第5時限	日本の美意識・建物と庭		
	第6時限			
	第7時限	プロとして空間を見る・テスト		
	第8時限			
テキスト、参考書	造園実務ポケットブック 他			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	緑地環境計画		科目番号	林・造-7
担当教員	守屋均(元香川大学)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	10～11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	大規模緑地や自然公園の保全、管理に関わる植物生態学の基礎を理解する。また、自然環境の保全や創造のための緑化のあり方を学ぶ。			
授業概要	植生分布、植生遷移の基礎知識について解説する。国営讃岐まんのう公園の見学を通して里山における人と自然との関わり合いを体験し、また、自然緑地の保全、再生について講義する。			
授 業 計 画	第1時限	植生分布と環境要因		
	第2時限	植生遷移		
	第3時限	日本の現存植生		
	第4時限	人と自然環境との関わり合い		
	第5時限	国営讃岐まんのう公園自然生態園見学		
	第6時限	国営讃岐まんのう公園自然生態園見学		
	第7時限	緑地の機能・効果、都市公園と自然公園		
	第8時限	自然環境の保全、再生		
テキスト、参考書				
成績評価法	授業中および本講義終了後の課題レポートにより評価する			
その他				

科目名	造園材料		科目番号	林・造-8
担当教員	川田一郎	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	11月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園施工を行う上で主に使用する造園材料の種類や特性、用途などについて知識を習得する。			
授業概要	主に使用する植物材料(樹木・草本類)や石材などその種類や用途を講義するとともに造園施工時に使用する他の材料について概要説明を行う。			
授 業 計 画	第1時限	樹木		
	第2時限			
	第3時限	地被植物・石材		
	第4時限			
	第5時限	木材と竹材、繊維材料		
	第6時限			
	第7時限	その他の材料、テスト		
	第8時限			
テキスト、参考書	造園実務ポケットブック 他			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名	庭木・緑化木管理		科目番号	林・造-9
担当教員	吉田重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	1学年 林業・造園緑化コース	開講時期	11～12月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園樹木の剪定・整姿と、目的に沿った樹木、地被植物の維持管理に関する知識と技術を習得する。			
授業概要	造園樹木などの整姿や施肥、管理に関する基本的な知識と技術を学び、主要な植物の形態的な特性と生理・生態的な特性に合わせた知識を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	植物の特性 造園樹木の特性		
	第2時限	造園樹木の管理		
	第3時限	庭木の剪定		
	第4時限	主な庭木の剪定		
	第5時限	主な庭木の剪定(マツ類)		
	第6時限	実技演習		
	第7時限	地被植物の管理 庭木の施肥、病虫害管理		
	第8時限	庭木・緑化木管理の総括試験		
テキスト、参考書	庭木・花木の剪定			
成績評価法	試験及び実技演習の成績により評価する			
その他				

科目名	造園施工		科目番号	林・造-10
担当教員	吉田 重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 造園緑化コース	開講時期	4～6月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	造園施工の技術に関する知識・技術を学び、造園空間を創出するための能力を習得する。			
授業概要	造園の施設施工、造園植栽施工の概要に関する知識を学習するとともに、模型製作等の演習を通して施工技術を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	造園技術の特色、造園施工工具類		
	第2時限	敷地の造成と土壌改良		
	第3時限	石組施工		
	第4時限	園路施工		
	第5時限	擁壁、階段、石積施工		
	第6時限	造園施設模型製作演習		
	第7時限	垣根施工		
	第8時限	添景物施工		
	第9時限	水景施設施工、給排水工		
	第10時限			
	第11時限	茶庭		
	第12時限	造園施設模型製作演習		
	第13時限	植物の移植		
	第14時限	植物の植栽施工		
	第15時限	地被、花壇の施工		
	第16時限	造園施工の総括試験		
テキスト、参考書	造園施工必携(改)、造園実務ポケットブック			
成績評価法	試験及び模型製作演習の成績により評価する			
その他				

科目名	緑化植物Ⅱ		科目番号	林・造-11
担当教員	川田 一郎(元県職員)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2学年 造園緑化コース	開講時期	6月	
単位数	1	必須・選択の別	必須	
授業目標	宿根草を含む緑化植物の分類、形態及び生育環境について理解を深める。			
授業概要	樹木や宿根草を植栽管理する上で、必要な知識や管理技術が習得できるよう基礎的な事項を幅広く講義する。			
授 業 計 画	第1時限	樹木・宿根草の主な種類と分類(使い方)		
	第2時限			
	第3時限	樹木の管理(剪定)		
	第4時限			
	第5時限	樹木の管理(灌水・薬剤防除)		
	第6時限			
	第7時限	テスト		
	第8時限			
テキスト、参考書	造園実務ポケットブック 他			
成績評価法	主に試験の成績により評価する			
その他				

科目名		造園計画設計		科目番号	林・造-12
担当教員		吉田 重隆	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース		2学年 造園緑化コース	開講時期	7～10月	
単位数		2	必須・選択の別	必須	
授業目標		「箱庭制作」を通して、庭園の計画・設計に必要な知識と技術を学び、空間を創造する能力と態度を習得する。			
授業概要		庭園の計画・設計・施工の基本的な流れを理解し、庭園の構造物や植栽等の配置を立体的(箱庭)・平面的(作図)に表現する技法を学習する。			
授 業 計 画	第1時限	造園計画と造園空間、造園デザインの技法			
	第2時限				
	第3時限	基本調査・全体計画			
	第4時限	箱庭制作の構想			
	第5時限	住宅庭園の計画・設計			
	第6時限	箱庭のエスキス(ラフスケッチ)制作			
	第7時限	住宅庭園の構成要素			
	第8時限	箱庭の平面図作成			
	第9時限	住宅庭園の構成要素			
	第10時限	箱庭の構造物作製			
	第11時限	美的構成の手法			
	第12時限	箱庭制作			
	第13時限	箱庭制作			
	第14時限				
	第15時限	箱庭制作・完成			
	第16時限	作品(作図、箱庭)の総括講評			
テキスト、参考書		造園施工必携(改)、造園実務ポケットブック			
成績評価法		小テスト及び作品(作図、箱庭)制作演習の成績により評価する			
その他					

科目名	景観デザイン		科目番号	林・造-13
担当教員	松本 誠司(四国グリーン産業㈱)	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース	2年生 造園緑化コース	開講時期	4~5月	
単位数	2	必須・選択の別	必須	
授業目標	外構(造園工事)に必要な実践的プランニング能力を身につけさせる			
授業概要	外構(造園工事)に必要な基本項目をまず習得し実務に役立つように課題、実習を行う。			
授 業 計 画	第1時限	外構(造園工事)の基本と事例紹介		
	第2時限			
	第3時限	エクステリア部材の種類、機能、寸法を知ろう		
	第4時限			
	第5時限	マテリアル(素材)の種類と特性を理解しよう		
	第6時限			
	第7時限	樹木下草の種類と植栽の基本パターンを学ぼう		
	第8時限			
	第9時限	プランニングを始めよう(測量→要望聞き取り→ゾーニング迄)		
	第10時限			
	第11時限	実習;課題によるプランニング(オープン外構~クローズ外構)		
	第12時限			
	第13時限	実習;すぐ役立つプランニング1(要望→プランニング)		
	第14時限			
	第15時限	実習;すぐ役立つプランニング2(プランニング→見積又はプレゼン)		
	第16時限			
テキスト、参考書	カタログ 各種資料 写真 パース図			
成績評価法	実習で行うプランニング完成図(2から3回)により評価する			
その他				

科目名	デッサン・製図		科目番号	林・造-14
担当教員	阿部佑平		科目区分	専門教育科目
対象学年、コース	2学年 造園緑化コース		開講時期	11～12月
単位数	1		必須・選択の別	必須
授業目標	造園製図のための基本的な技術と知識を習得する。			
授業概要	造園緑化に使用する樹木などの自然素材の表現方法や、平面図、透視図などの描法をフリーハンド並びにCADにより演習する。			
授 業 計 画	第1時限	透視図の描き方		
	第2時限	透視図の描き方		
	第3時限	透視図の描き方		
	第4時限	JW-CADの基本操作、作図実践(コマンド操作練習)		
	第5時限	JW-CADによる平面図の作成(基本)		
	第6時限	JW-CADによる平面図の作成(基本)		
	第7時限	JW-CADによる平面図の作成(基本)		
	第8時限	JW-CADによる平面図の作成(基本)、提出課題		
テキスト、参考書	造園図面の表現と描法1 実践 造園図面の描き方 はじめて学ぶJw_Cad8、Jw_Cadハンドブック			
成績評価法	主に簡単なレポートにより評価			
その他				

科目名	環境緑化演習		科目番号	林・造-15			
担当教員	表崎 晃	科目区分	専門教育科目				
対象学年、コース	2学年 造園緑化コース	開講時期	5～12月				
単位数	2	必須・選択の別	必須				
授業目標	環境緑化における基本的な知識習得と問題解決能力の向上を図る。						
授業概要	環境緑化に必要な基本的知識について講義と現場学習を行う。						
授業計画	第1時限	基本知識、基本技術。個人レベルに合わせた指導。専門科目の補充 (造園施工管理試験対策を含む)					
	第20時限						
テキスト、参考書	2級造園施工管理試験						
成績評価法	主にレポートにより評価						
その他							

科目名		農場実習		科目番号	林・造-16
担当教員		コース教諭他	科目区分	専門教育科目	
対象学年、コース		1年生 林業・造園緑化コース	開講時期	通年	
単位数		10	必須・選択の別	必須	
授業目標		林業、造園の技術を習得する。			
授業概要		現地で林業機械や造林の実習を行うとともに、造園の技能検定に向けた練習等を行う。			
授 業 計 画	第1時限	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 地図の読み方、山林内の安全な歩行等の習得（森林基礎実習） ・ ・ 林業労働の安全衛生に関する知識等の習得（林業労働安全実習） ・ ・ 刈払機の取扱、伐木等の業務に係る特別教育（安全衛生実習） ・ ・ 林業機械を使用した作業を安全に行うために必要な知識と技術の習得（林業機械実習） ・ ・ 造林、育林に関する作業方法の習得（造林実習） ・ ・ 山地災害の防止と防災施設の設計・図化方法等の習得（森林防災実習） ・ ・ 造園の技術の習得 ・ ・ 			
	第222時限				
テキスト、参考書					
成績評価法		農場実習実施要領の農場実習報告書により評価			
その他					